



②



①



③

- ①関係者とともにくす玉を割る来館者
- ②10万人目の入館者にはシロヘビのぬいぐるみなどの記念品が贈呈された
- ③あいさつをする岩国白蛇保存会の森橋律夫会長
- ④漆原友紀原画展の様子



④

Iwakuni City Topics まちの話題

岩国シロヘビの館 10万人達成セレモニー

9月16日、岩国シロヘビの館の入館者が10万人を達成し、同館内でセレモニーが開催されました。

3月24日に開館した岩国シロヘビの館は、7月16日～9月19日に開催された市出身の漫画家・漆原友紀氏の原画展などさまざまな催しもあり、約半年で記録達成となりました。

10万人目となった家族連れの入館者は、関係者とともにくす玉を割って記録達成を祝いました。

岩国シロヘビの館

岩国市横山二丁目6-52
☎35-5303

国の天然記念物「岩国のシロヘビ」の生体展示だけでなく、映像やゲーム、資料などで大人から子供まで楽しく学べる施設です

遊びにおいでよ！





最後の運動会に

9月11日、美川中学校で「美川小中合同運動会」が開催されました。今年度で休校が決定している美川中学校は、在校生が1人のため美川保育園児や地域の人も参加し、地域と学校をつなぐ運動会として大変盛り上がりました。最後の在校生の竹中康太くんは、赤隊長として総合優勝、応援優勝を勝ち取り有終の美を飾りました。



きらきらステンドグラス作りに挑戦！

9月12日、ハーモニーみわで「ステンドグラス体験教室」が開催され14人が参加しました。参加者ははんだごてを使って、思い思いの色のガラスを組み合わせていきました。「色合いを考えるのが難しい」と言いながらも、出来上がったステンドグラスはどれもキラキラしてすてきな作品でした。

Iwakuni City Topics | まちの話題



夏の疲れた体に アロマでバスボムづくり

9月13日、本郷ふるさと交流館で、作家のエル♥ミ氏を講師にバスボムづくりが行われ、8組14人の親子が参加しました。バスボムはお風呂の中に入れて香りや泡を楽しむ、主に重曹やクエン酸を材料にした入浴剤です。この日は子供にも安心して使える肌に優しいバスボムを作りました。



月に一度のお楽しみ

9月18日「しゅうとうまちふれあい自由市」が周東ふれあい広場で開かれました。

ふれあい自由市は11月を除き毎月開催されており、来場者は地元の企業やグループが出品した高森牛や蜂蜜、新鮮な野菜、手芸・工芸品など、自由市ならではの商品を買求め、会場は活気にあふれていました。



秋の交通事故防止

9月23日、秋の全国交通安全運動にちなみ、道の駅「ピュアラインにしき」で交通安全対策協議会錦町部会が交通安全キャンペーンを行いました。

協議会は国道187号下り車線の通行車両を誘導して、小学校児童からの手紙やチラシなどを配布し、交通ルールやマナーを守るよう呼び掛けました。



地元も沸いた、カープ優勝！

9月17日、広島東洋カープのセ・リーグ優勝を祝し、由宇商店街有志主催の祝勝会がえびす中央商店街で開催されました。

多くのファンが集った会場は赤一色に染まり、鏡開きやカープ応援歌の合唱で大いに沸きました。カープタウンゆうは、地元から育った若鯉の活躍をこれからも応援していきます。



宇野千代の人生を紹介

9月27日、玖珂総合センターでやまぐちの文学おでかけ講座が開催され、文芸評論家で宇野千代顕彰会顧問の尾形明子氏が「宇野千代という宇宙」という題で講演しました。宇野千代の多くの著書や波乱に満ちた人生など紹介し、79人の参加者は熱心に聞き入っていました。



みんなで子育て 助け合おう

9月22日、こども館で「岩国ファミリーサポートセンター全体交流会」が行われ、50組160人の親子が参加しました。センターの説明やサポートの事例発表の後、エンターテイメントグループ「おんがくこうじょう。」によるステージ発表があり、参加者は曲に合わせて手拍子をするなど楽しんでいました。